

## 祝 辞

日本雪氷学会北信越支部長 中 村 勉

日本雪氷学会北海道支部創立 30 周年記念式典にあたり、北信越支部を代表し一言お祝の言葉を述べさせて戴きます。

昨年の本部の創立 50 周年に引き続き、本年は北海道支部がその 30 周年を祝うという事は誠に御日出度く、心よりお慶び申し上げるものであります。一口に 30 周年と言いますが、一つの組織あるいは機関が 30 年続くということは、それほど生易しいものではないと存じます。特に、昨今の、大学や国立試験研究機関における研究所や学科等の統廃合を目の当たりに致しますと、その感を強くするものであります。



いささか私事になって恐縮ですが、北海道支部が発足致しましたのは、昭和 34 年 5 月 18 日の事でございますから、それは丁度私が大学院生に進んだ年に相当致します。すでに故人となられました孫野長治先生のお勧めにより、私が日本雪氷学会に入会致しましたのが、昭和 33 年頃というように記憶しておりましたが、もしかすると、この北海道支部発足を機に入会したのかも知れません。

ところで、ご承知の通り、現在、日本雪氷学会には貴北海道支部の他に二つの支部が御座居ます。すなわち、東北支部と北信越支部であります。東北支部は昭和 61 年 2 月に、そして、北信越支部は 62 年 9 月に発足した北陸支部をその前身としております。これら二つの支部は、北海道支部に比べますと将に幼児そのものであります。

振り返ってみますと、北海道支部は発足直後から、種々の支部活動、すなわち、研究会や講習会等を精力的に行ってきたり、当初のガリ版刷りの印刷物は、最近は「北海道の雪氷」というスマートな定期刊行物に発展してきております。私は、昭和 41 年、丁度北海道支部の今年の年齢の時に北海道支部を去り、長岡へ転勤致しました。しかし、幸いにも北海道支部の活動状況を示す印刷物は、現北海道支部長の若濱五郎先生や、現神戸商船大学教授の斎藤実さんたちから長岡迄送られてきておりました。それは、残念乍ら、私の長期海外出張と併せて昭和 43 年に途絶えてしまうのですが、東北支部や、北信越支部発足の陰には、この北海道支部活動の脈々とした流れとそこご支援が存在していたことは、粉れもない事実であり、万人が認めるところのものであります。

日本雪氷学会の活動、ひいてはこれら三つの支部活動がどのように進展してゆくか、それは何人にも判らない事ではありますが、日本が雪国であるかぎり、人間生活とは切っても切れない関係を持ち続ける事は間違いないことでしょう。しかも、雪氷学は人間のための学問であると同時に、地球上の、引いては惑星上の雪氷、もっと広く考えますと、 $H_2O$  という物質の存在にまで関わる幅広い学問体系として位置付けられると思います。この幅広い学問体系の発展は、30 年の歴史をもつ北海道支部の従来にも増す御研さんとリーダーシップにまつこと大であると信じて疑わないものであります。北海道支部の今後の益々の御発展を心よりお祈り申し上げ祝辞といたします。

1989 年 6 月 13 日